



今月の表紙

龍王祭



鬼怒川・川治温泉の夏の風物詩、龍王祭が7月25日(金)～27日(日)に開催されました。

25・26日は鬼怒川温泉を会場に、26・27日は川治温泉を会場に行われ、会場は多くの参加者や観光客でにぎわいました。

鬼怒川温泉では、龍王太鼓の演奏や各種ステージイベントなどが開催された他、万燈神輿と女樽神輿の渡御などが行われました。

平成25年に5年ぶりの復活を遂げた女樽神輿は、今年は1基数を増やし3基に。万燈神輿の勇壮な掛け声に交じり、女性の明るく元気な声が温泉街にこだましていました。

職場の同僚3人で参加した大島さん(塩谷町)、清水さん・白井さん(柄倉)は、「重かったけれどやり切った感がありました」「地元の人もなかなか経験できないことです」「来年もぜひやりたいです」とそれぞれ話してくれました。



7月26日(土)、市などの主催により、今回で36回目の開催となるCRTクリーン日光キャンペーンが、奥日光で行われました。当日は晴天に恵まれ、個人や団体243名が三本松駐車場に集まり、湯ノ湖コースや戦場ヶ原コース、中禅寺湖コースなど8コースに分かれ、清掃活動を行いました。



鹿沼市から親子で参加した新川さんは「今回で4回目の参加です。小さなゴミが多くありました。また、子どもと一緒に国立公園内をきれいにできて良かったです」と話してくれました。なお、今回の活動で、可燃ゴミを50kg、不燃ゴミを120kg収集しました。

CRTクリーン日光キャンペーン



7月27日(日)、三依地区の入山沢水産フェア2014が開催されました。会場に集まった200名以上の親子連れは、イワナやヤマメのつかみ取りや、水生昆虫採集などを楽しんでいました。魚のつかみ取りでは、足を滑らせ尻もちをついてしまう子や魚を逃がしてしまい悔しがる小学生、怖がって魚が触れない幼児、子どもより夢中になっている親など、

水産フェア2014



会場は終始笑顔と歓声にあふれていました。参加者はつかみ取りの後、イワナやヤマメの塩焼きをおいしそうにほおぼっていました。家族4人で参加していた小学校6年生の板垣安珠さん(今市)は、「つかみ取りは、今回で3回目になって、とてもうれしかったです」と笑顔で話してくれました。

男体山登拝講社大祭



日光二荒山神社中宮祠で、7月31日(木)～8月7日(木)の8日間、男体山登拝講社大祭が行われました。

この行事は、今から1200年以上前の奈良時代から続く修験道の伝統行事です。8月1日の午前0時に登拝門が開門すると、約800人の登山者は、男体山(2,486m)の頂上を目指して次々と入山しました。

暗闇の中、登山者のヘッドライトの明かりが幻想的に連なり、空にはたくさんの星がきらめいていました。

午前5時過ぎ、東の空に薄く広がった雲間からご来光が差すと、登山者らは万歳三唱をしたり、手を合わせたりしていました。

宇都宮市から訪れた神山絵里さん・斉藤恵利佳さんは「今年で3回目の参加です。つらいけど、達成感を求めて毎年登っています」と笑顔を見せてくれました。



竹の宵まつり



7月12日(土)～8月3日(日)、湯西川温泉街と市営駐車場で、今年で11回目を迎えた竹の宵まつりが開催されました。幻想的な竹の明かりが会場を包み、来場者はその雰囲気魅了されていきました。また、短冊や願い事を和紙に書いて、明かりを灯す「願いキャン



ドル」も用意され、多くの人の願いが会場の雰囲気をつさげ盛り上げていきました。梁谷さん夫婦(埼玉県)は「定年のお祝いに子どもから湯西川への旅行をプレゼントされて来ました。幻想的でびっくりしました。とてもきれいです」と話してくれました。

かわあかり



7月19日(土)～27日(日)、湯西川本流でかわあかりが開催されました。約2,500個の「いのり星」と呼ばれるLEDを装着した球が、青い光を放ちながら川を流れていきました。青色に輝く川の幻想的な姿を、来場者は息を飲んで見つめていました。

日光ミュージックステーション



7月25日(金)～27日(日)の3日間、今市宿市緑ひろばで日光ミュージックステーションが開催され、20以上のバンドなどの演奏が行われました。また、ユーチューブで動画配信される、「みんなで踊って、恋するフォーチュンクッキー」には100名以上の人が一体となり曲に合わせて踊り、会場は盛り上がっていました。